

重点項目 5 たばこ対策

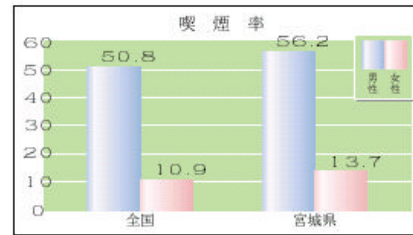
- 1 スローガン ●たばこの健康への影響を理解し、喫煙習慣を見直そう
●他人の健康に配慮し、マナーある分煙を

2 現状

全国より高い喫煙率

男女とも全国より高い喫煙率となっています。女性喫煙者の割合は仙台市が県内トップです。

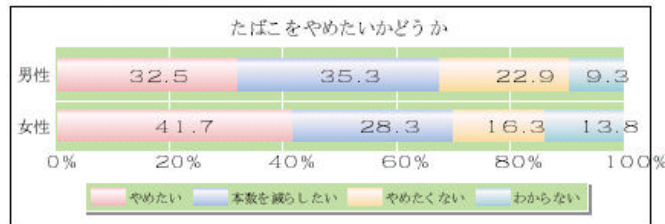
県：H12県民健康栄養調査
全国：H10国民健康調査



禁煙・減煙希望者は7割

現在喫煙している人のうち男性32.5%、女性41.7%が禁煙を希望しており、減煙を含めると男女とも7割がたばこをやめたい又は減らしたいと考えています。

禁煙希望者が全員禁煙に成功した場合、非喫煙率（たばこを吸わない人の割合）は男性43.8%→62%、女性86.3%→92%になります。



H12県民健康栄養調査

他人の煙を吸っている人が5割

家庭や職場で毎日又は時々受動喫煙することのある人が約半数います（家庭45.0%、職場48.1%）。たばこを吸わない人への配慮はまだ十分とはいえないようです。

喫煙による健康への影響

喫煙は、各種のがん、循環器疾患、気管支喘息の危険因子であることが明らかとなっています。さらに、妊婦及び歯周病にも悪影響を及ぼすといわれています。

〔喫煙者は非喫煙者と比べ病気になる確率が何倍高いか〕

	全がん	肺がん	喉頭がん	胃がん	虚血性疾患	脳卒中	気管支喘息	胃潰瘍	早産	歯周病
男性	1.7	4.5	32.5	1.5	1.7	1.7	1.8	3.4	3.3	約2倍
女性	1.3	2.3	—	1.2	—	1.7	4.0	—	—	—

健康日本21資料

〔夫の喫煙量別に見た妻の肺がんによる死亡率比〕

	非喫煙率	以前喫煙	15本未満	15～19本	20本以上
標準化死亡率（倍）	1.00	1.36	1.42	1.53	1.91

平山 雄の調査

喫煙と疾病の認識

たばこを吸うとわかりやすくなるものとして「肺がん」は9割、「妊婦への影響」は8割の人が認識していますが、「胃潰瘍」「歯周病」は3割程度にとどまっています。

3 目標値

項 目	現状（2000年）	目標（2010年）
喫煙の健康影響に関する知識の普及	27.3～90.6%※	100%
未成年者の喫煙の減少	—	0%
禁煙希望者への支援による非喫煙率の増加	男性 43.8% 女性 86.3%	62% 92%
公共施設における分煙対策の促進	61.2%	100%

※P46 1 (3) 喫煙と疾病について正しい知識をもっているか 参照

4 具体的施策

項 目	推進主体	推 進 内 容	対 象
たばこに関する知識の普及	県 市町村 職域 検診機関	・ 広報誌、インターネット等による、たばこを含めた健康問題全般の知識普及 ・ 健診受診者に喫煙の健康影響に関する資料の配布 ・ 健診の間診や診察時に、たばこについての話し合いの勧め ・ 喫煙の健康影響に関する学習会、勉強会の開催	県民 学校 事業所
未成年者の喫煙防止対策	県 市町村 学校 販売業者	・ 未成年者に対するたばこ販売禁止の徹底 ・ 小中高等学校内の完全分煙の推進 ・ 防煙教育の充実及び指導者の資質向上 ・ 保護者の未成年者喫煙に対する認識を深めるような働きかけ	県民 学校 小中高生 教職員 保護者 販売業者
禁煙支援対策	県 市町村 関係機関	・ たばこに関する相談窓口の設置の推進 ・ 禁煙支援に関する情報の整備 ・ 全市町村における禁煙教室の開催の推進 ・ 禁煙指導を行う医療機関の拡充 ・ 医療関係者に対する禁煙指導講習会の開催	県民 市町村 医療関係者
分煙促進対策	県 市町村 職域	・ 公共施設の完全分煙化 ・ 職場の分煙推進に向けて実態把握及び情報提供	公共施設管理者 事業所の健康管理者